

競輪中期基本方針 (2023年度)の進捗状況

2024年5月21日



目次

1. ガールズケイリンのリブランディング推進状況.....	2
2-1. パリオリンピック関連(競輪選手の動向).....	3
2-2. パリオリンピック関連(機運醸成の取組).....	5
3. 日本競輪選手養成所(伊豆)整備計画.....	6
4. 2025大阪・関西万博への支援に関する取組.....	7

1.ガールズケイリンのリブランディング推進状況

1.ガールズ

2.オリンピック

3.伊豆整備計画

4.大阪関西万博

- 2023年度のガールズケイリンGIトーナメント及びガールズグランプリは、いずれも売上好調。
- 2025年度より、女子オールスター競輪をGIトーナメントとして格付けることが決定した。

2023年度 女子グレードレースの状況

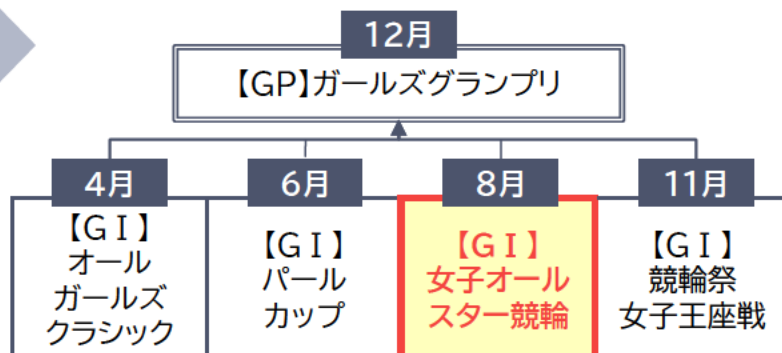
- 2023年度に新設した女子GIトーナメントは、いずれも売上好調。
- 男子同様GPに格付けした「ガールズグランプリGP」では、過去最高売上を記録した。
- 2023年の女子選手獲得賞金総額(1～12月)は前年比18%増。

売上13.4億	施行者 目標額達成 売上30.4億	売上増加 売上14.9億	過去最高売上 売上9.2億
6月	10月	11月	12月
パールカップ (計12R)	オールガールズクラシック (計36R)	競輪祭 女子王座戦 (計12R)	ガールズ グランプリ (1R)

※普段のガールズケイリンの1開催(計6R)あたり平均売上額は約1.8億円(2023年度)

2025年度 女子オールスター競輪GI化

- ガールズケイリンのグレードレース拡大及び、女性メジャースポーツとしての地位獲得に寄与することを目的に、2025年度より女子オールスター競輪をGIトーナメントとして格付ける。



競技に集中できる環境づくり

- 岐阜競輪場・小松島競輪場において女子専用宿舍が整備されるなど、女子選手に配慮した競輪場施設への改修が行われた。



▲小松島競輪場の女子選手宿舍

ガールズケイリンプロモーション

- 女子GI開催決勝戦のBS中継、ガールズケイリンCMの出稿量(前年度比約4倍)を増やす等、これまでの取組を強化。
- 2023年度における新たな取組として、スポーツファンへの認知拡大に向け、スポーツ総合情報サイトに1年間通じて計33件、ガールズケイリン関連記事を掲載した。(累計PV数:約150万PV)



2-1.パリオリンピック関連(競輪選手の動向)

1.ガールズ

2.オリンピック

3.伊豆整備計画

4.大阪関西万博

- ・パリオリンピック出場及びメダル獲得に向け、世界基準の施設(伊豆ベロドローム・静岡県伊豆市)を拠点に世界トップレベルのコーチングスタッフによる選手強化を推進。
- ・多くの競輪選手がオリンピック出場のかかる国際大会にて活躍。オリンピック出場枠獲得が期待される。



パリオリンピック出場枠獲得に向けて ～国際大会における競輪選手の活躍～

パリオリンピック出場枠選考期間における対象大会(※)において収めた成績に応じ、各国に出場枠が付与される。

※ 出場枠選考期間:2022年7月～2024年4月、対象大会:世界選手権、ネーションズカップ(※※)、アジア選手権

※※ ネーションズカップ:世界選手権に次ぐ格付けの国際大会。1シーズンに3戦、世界各地で開催される。(2020年まで「トラックワールドカップ」という名称で実施)



世界トップレベルのコーチによる指導の下、選手の強化を推進

2022→



佐藤水菜選手

2023→

多くの競輪選手がネーションズカップ、アジア選手権で活躍し、
短・中距離種目ともにメダルラッシュ



窪木一茂選手、中野慎詞選手、内野艶和選手



10月
世界選手権

佐藤水菜選手がケイリンで2大会連続銀メダル
窪木一茂選手がスクラッチで銀メダル

2月・3月・4月
ネーションズカップ
第1戦～第3戦

6月
アジア選手権

8月
世界選手権

中野慎詞選手がケイリンで銅メダル
窪木一茂選手がスクラッチで2大会連続銀メダル
内野艶和選手がポイントレースで銅メダル

2024→



太田海也選手



橋本英也選手



小原佑太選手、山崎賢人選手



2月
・ネーションズカップ第1戦
・アジア選手権

3月・4月
ネーションズカップ
第2戦～第3戦

2024シーズンにおいても多くの競輪選手が
各大会でメダルを獲得し、好成績を収めた
(次頁参照)

4月下旬
～5月中旬
オリンピック出場枠
決定(予定)

7月
派遣選手決定
(予定)

8月
パリ五輪

参考. 2024国際大会の競輪選手戦績(獲得メダル)

1.ガールズ

2.オリンピック

3.伊豆整備計画

4.大阪関西万博

短距離		男子				女子
		太田海也選手 ※1	中野慎詞選手	小原佑太選手	山崎賢人選手	佐藤水菜選手 ※2
ネーションズカップ	第1戦	■ スプリント 金 ■ チームスプリント 銀 ■ ケイリン 銅	■ ケイリン 銀	■ チームスプリント 銀	メダル獲得なし (ケイリン 8位) (スプリント 22位)	■ ケイリン 金 ■ スプリント 銀
	第2戦	■ スプリント 金 ■ ケイリン 金 ■ チームスプリント 銀	メダル獲得なし (スプリント 8位) (ケイリン 13位)	■ チームスプリント 銀	メダル獲得なし (ケイリン 9位) (スプリント 21位)	メダル獲得なし (ケイリン 5位) (スプリント 7位)
アジア選手権		出場せず	出場せず	■ スプリント 金 ■ チームスプリント 金	■ ケイリン 金 ■ チームスプリント 金 ※3	出場せず

中距離		男子		女子
		窪木一茂選手	橋本英也選手	内野艶和選手
ネーションズカップ	第1戦	メダル獲得なし (オムニアム 5位) (マディソン 5位) (チームパシュート 5位)	メダル獲得なし (チームパシュート 5位) (マディソン 6位)	メダル獲得なし (チームパシュート 9位) (オムニアム 11位)
	第2戦	■ チームパシュート 銀 ■ マディソン 銅	■ チームパシュート 銀 ■ マディソン 銅	■ マディソン 金 ■ オムニアム 銀 ■ チームパシュート 銅
アジア選手権		■ マディソン 金 ■ チームパシュート 金	■ オムニアム 金 ■ チームパシュート 金	■ ポイントレース 金 ■ マディソン 金 ■ チームパシュート 金 ※3

【トピック】

※1...太田海也選手
2戦連続して、出場した全種目においてメダルを獲得。

※2...佐藤水菜選手

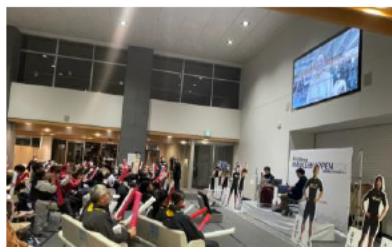
- ・ネーションズカップでのスプリントのメダル獲得は、日本女子チームとして3年ぶり。
- ・ケイリンでネーションズカップ3戦連続の優勝達成。

※3...アジア選手権での活躍
競輪選手が獲得したメダルはすべて金。
アジアトップレベルの力を示した。

- 日本国民へ競輪のスポーツ性、メジャー性を訴求し、競輪のイメージアップを図るため、パリオリンピック(自転車トラック競技)の機運醸成に向けた取組を実施。

パリオリンピックに向けた機運醸成

- パリオリンピックに向けた機運醸成として、2024ネーションズカップ第1戦(オーストラリア)及び第2戦(香港)のパブリックビューイングを実施。
※第1戦会場:ラピスタ新橋(2月3日)及び茅ヶ崎市役所(2月4日)
第2戦会場:みしまプラザホテル(静岡県三島市・3月17日)
- 来場者からは「自転車競技初観戦だがオリンピックを応援したくなった」「この選手たちが走る競輪も観たい」等好意的な意見があった。



▲佐藤水菜選手の出身地・茅ヶ崎市でのパブリックビューイング



▲第2戦イベント会場での様子(みしまプラザホテル)

パリオリンピック自転車競技日本代表応援サイトの開設

- パリオリンピック自転車トラック競技日本代表チームに関する情報発信を行う特設サイト「MAKE it HAPPEN2024」を開設。
- パリオリンピックに向け、選手や競技への認知を高めるとともに、競輪の新規顧客獲得につなげる。



▲日本代表選手関連情報等、オリンピック本番までの間様々な情報を発信予定

TEAM JAPANパートナーシッププログラムの締結

- JKAは、公益財団法人日本オリンピック委員会と「TEAM JAPAN※」を支援するパートナーシップ契約を締結。本パートナーシップを通じ、競輪の社会的認知拡大を図る。
- ロゴやスローガンを使用した広告物(横断幕、ポスター、WEB広告等)を制作し、大会の前後で展開していく。



▲各競輪場等において掲示する横断幕デザイン

※TEAM JAPAN…オリンピックをはじめとするさまざまな国際競技大会における日本代表選手団

3.日本競輪選手養成所(伊豆)整備計画

1.ガールズ

2.オリンピック

3.伊豆整備計画

4.大阪関西万博

- ・日本競輪選手養成所は、1968年の竣工から55年が経過しており、老朽化への対策が必要。
- ・専門人材とテクノロジーの活用等の体制構築により先端トレーニングを追求し、競技者にとって魅力ある施設となるよう、まずは総合トレーニング棟と候補生宿舍の整備を行う。



基本構想

- ・先端トレーニング施設の充実による選手・候補生の競技力向上
- ・女子候補生が競技に集中できる施設整備により優秀な選手の発掘・育成
- ・地域社会へ開かれた養成所としての社会貢献



日本競輪選手養成所の全景と第1期工事の建設イメージ

【第1期工事の主な設計コンセプト】

- ・「訓練」と「休養」が結びついた一体的な施設
- ・動線を改善し、移動時間を短縮することでトレーニングを充実



【導入検討中の機材】 ※2023年度末時点



脚力強化のための
レッグプレスマシン

最適な乗車フォームを導き出す
乗車姿勢評価装置(idmatch®)



疲労回復を目的とした交代浴施設



- ・ 博覧会協会との協賛契約を通じ、競輪及び補助事業の認知拡大とイメージアップを図る



大阪・関西万博への支援

- ・ 以下の3つの取組により、競輪業界全体で大阪・関西万博を支援。

JKA補助事業

大阪・関西万博協賛競輪

JKAによる博覧会協会との協賛契約



博覧会協会との協賛契約に基づく取組



展示スペースでの催事出展

- ・ 展示の狙い

世界中のこれまで競輪に触れてこなかった人、これからお客様や選手になる若年層に「競輪のスポーツ性・歴史」「競輪選手の魅力」「競輪の補助事業」をPRする。

- ・ 展示期間：2025年8月4日～8月31日(予定)
- ・ 展示場所：大阪・関西万博会場内 ギャラリーウエスト
- ・ 展示で表現する要素



▲検討中の展示会場(イメージ)

躍動感(スポーツ性)	最新の映像技術を活用し、競輪のスポーツ性をドラマチックに表現し、全身で感じてもらう
感動の歴史	1948年からの歴史を紐解きながら、選手のドラマや名シーンの再現を含めることで感動を与える
選手の魅力・アスリート性	競輪選手の身体能力の高さや競走中の高度な駆け引きなど、アスリートたちの心境に迫る
社会を支える補助事業	競輪・オートレースの補助事業が身近な暮らしをどれだけ支えているかをワクワクする仕掛けで伝える



ロゴ掲出、協賛PR

- ・ 大阪・関西万博の会場で競輪や補助事業ロゴを掲出
- ・ 競輪や補助事業の広報活動において万博協賛をPR を予定

